

～松戸市・生活支援体制整備事業～

地域づくり交流会 実施報告書



01

目次

事業の概要

P2

15地区の地域づくり交流会

P3

事業名

生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーター委託業務
(地域づくり交流会 実施報告書)

背景・目的

2018年度に実施した地域づくりフォーラムの実績を踏まえ、また生活支援コーディネーターが1年間を通して取り組んできた事業の成果を地域の方々に広く伝えることを目的として「地域づくり交流会」を15地区それぞれで実施する。

運営体制

高齢者支援課、地域包括支援センター、NPO法人まつどNPO協議会が事務局となり、市内15地区で有志でご協力いただいた2層ワーキングメンバーの方々と共に企画運営を行っていった。

全体の様子

今年度については、イベントとしての要素に縛られることなく、各地区の特性を踏まえた上で必要と考えるテーマに基づき、防災やひきこもり、顔の見えるコミュニティづくり、など多種多様な企画を実施した。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、3月に予定していた4地区の交流会については中止・延期となった。

成果と課題

<成果>

企画の枠組みが柔軟になったことで、地区の課題に合わせて内容を検討することができた。また地域の方々との関係づくりも意識したことで次年度につながる機会を作ることができた。

<課題>

直近1年間の動きだけではなく、本来は数年間をスパンとしてどのような計画を立てていくかを議論していくことが必要であるが、地域診断も含めて地域の現状把握が不足している地区があるため短期的な視点になってしまっている可能性がある。

地区名
タイトル

明第1地区

お孫さんと一緒に焼き芋パーティー



目的

地域や趣味活動・コミュニティと接点の持てないような方（特にシニア男性）に対して、地域や趣味活動に関連する情報を得て（＝情報に触れる）、地域への社会参加のきっかけとなる。

開催日時

2020年1月19日（日） 13:30 - 15:00

場所

松ヶ丘小学校 体育館

内容

①明1地区内のサークル、町会自治会や市内全般の社会資源の情報掲示・発信、情報交換、ボランティアによる地域活動の関心度アンケートの実施、焼き芋配布④ゲームの実施

当日参加者数

217名（男性89名/女性128名 うち9歳以下83名）

参加者の傾向

年齢別：60代以上の男性11名、9歳以下83名アンケート回収：75名（対象：134名/回収率：56%）今後情報配信を希望するか希望する男性11名（うち60歳以上6名）

2層ワーキング

松戸市職員、地域包括支援センター、まつどNPO協議会、市社協職員、地区会会長、町会会長6名、福祉部会メンバー、デイサービス職員、民生委員、地域住民

総評

シニアの社会参加という大目標に対して、今回の焼き芋がどの程度有効でどの程度目標達成できたかの振り返りの視点共有を図りつつ、テーマに対する段階づけを具体的に検討したい。またシニアの社会参加につながる機会を創出すること、その活動を周知してもらうための企画を分けていく方針も具体化させていく。

地区名
タイトル

明第2西地区

地域の助け合いを考えよう

明第2西地区 地域づくり交流会

ボランティアに興味がある！参加したい！

オレンジリングを持っているけど、もっと地域に役立てたい！

地域の助け合いを考えよう

地域の「ちょっとした困り事」を、地域で補い合う必要性が年々高まっています。明第2西地区でスタートした「すまいるショッピング(買い物支援活動)」の活動報告やボランティアに参加している方々の声を聞き、皆でできる助け合い活動について考える時間を、一緒に過ごしませんか？

日時 2020年 2月8日(土)
10:30~12:00 (受付開始 10:20~)

場所 古ヶ崎市民センター 2階ホール
(松戸市古ヶ崎4-3490) ※駐車場の利用はできません

定員: 50名 (事前申込: 下記お問合せまでお電話ください)

お問合せ 明第2西高齢者いきいき安心センター (地域包括支援センター)
松戸市栄町西3-991-15 電話: 047-382-5707 FAX: 047-382-5727

主催: 明第2西地区地域づくり交流会実行委員会 松戸市役所 高齢者支援課
後援: 社会福祉法人 松戸市社会福祉協議会

参加無料



目的

定期的に(月1回)開催してきた買い物支援(すまいるショッピング)の活動報告と、地域へのボランティアの現状を知り、参加のハードルを下げることを目的に交流会を開催。

開催日時 2020年2月8日(土) 10:30 - 12:00

場所 古ヶ崎市民センター 2階ホール

内容 松戸市社会福祉協議会よりボランティアに関する情報提供、参加しているボランティアさんとのパネルディスカッションとグループでの意見交換。

当日参加者数 22名

参加者の傾向 近隣町会の住民の方を中心に参加。平日は仕事をしている40-50代男性や、老人会の参加者でボランティアに興味があった方が参加。

2層ワーキング 松戸市職員,明2西地域包括支援センター,まつどNPO協議会,オレンジ協力員,ケアマネージャー,市社協職員

総評

買い物支援を利用したい住民のニーズが高まる一方、ボランティアの受入れの拡充が改題であることはボランティアも感じている。今回の交流会とは違う形での地域に興味や愛着が持てるようなボランティアに触れやすいイベントや環境の整備を進めたい。また買い物支援の運営面には自動車保険の導入や運営予算をとりまとめる運営母体の明確化が課題。

地区名
タイトル

明第2東地区

この住み慣れた地域で楽しく暮らすために
～自分ができること、してもらいたいこと～

明第2東地区 地域づくり交流会

**この住み慣れた地域で
楽しく暮らすために**
～自分ができること、してもらいたいこと～

【日時】2月13日(木) 13:30～15:30
【場所】明市民センター ホール (室西608)
【内容】

- 報告 買い物支援の取り組みについて
- お話 生きがいのある暮らしを見つけよう

話し手 認定NPO法人たすけあいの会ふれあいネットまつど
代表 佐久間浩子さん

地域のなかでたすけあいのしくみをつくる
・少しお金がもらえるボランティアについて
・ボランティアをしている方のあはれ
ふれあいネットでボランティアをしている方が増えてくれます。
まつどやどんな活動をしているかなどのお話を伺います。

あいても、障がいを持って、
もともと住み慣れた地域で、
「まよあひ」たすけあいの輪を
広げたいです!!

いつでもお話ししたい!!
このまちで暮らしたい!!

こんなこと思った方、
ぜひ覗きにきてください!!

当日参加OK! 入居履歴のある高齢者申し込みが取りやすい

(申込る問合せ先) 主催: あきらまのショッピングプロジェクト
明第2東高齢者いきいき安心センター 協力: 松戸市高齢者支援課 明第2東高齢者いきいき安心センター
まつどNPO協議会
047-382-6294



目的

坂が多いという地域でフレイルが進行しやすいという地域課題を解決するために「買物支援」をテーマに掲げて進め、10月にデモを実施したことで有効性と移動支援へのニーズと興味が高まった。買い物支援のデモ報告と先行して助け合いの会を実施しているNPOを講師に迎え、助け合いのしくみづくりにつなげることを目的とした。

開催日時

2020年2月13日(木) 13時～15時

場所

明市民センター ホール

内容

買い物支援デモの報告・たすけあいのしくみについてのお話・意見交換

当日参加者数

43名

参加者の傾向

オレンジ協力員、サロンのボランティア中心に、町会長、民生委員、議員、NPOで活動している方、掲示板を見てきた方など多様な立場の方の参加があった。

2層ワーキング

・松戸市職員・明第2東包括職員2名・まつどNPO協議会・デイサービスの施設長と他1名・通いの場スタッフ/オレンジ協力員

総評

買い物支援では、車の手配や保険負担の問題など、乗り越えなければならない壁が多いことがワーキングを通して、メンバーの共有することができた。とはいえ、交流会で、既に市内で歴史のある福祉有償運送ボランティアを実施しているNPOからアドバイスをもらいつつ、交流会アンケートで今後関りたいかたも出てきたので、自分たちのできることから始めよう、ということになった。具体的な活動のスタートにつなげていきたい。

地区名
タイトル

本庁地区

マンションプラス コミュニティプロジェクト
～住民協働によるコミュニティづくり～

本町・松戸・小山・二十世紀が丘美野里町地区対象 本庁地区
地域づくり
交流会
Vol.1

マンション
プラス
コミュニティ
プロジェクト

～住民協働によるコミュニティづくり～

2020年 3月7日(土) 参加無料
13:30～15:00 ASIAN FOOD GARDEN
(受付開始 13:15～) クーポン特典付き!

KITE MITE MATSUDO 10F
(キテミテマツド/旧伊勢丹)
ASIAN FOOD GARDEN

定員: 30名 (事前申込)

【お名前】 【お住まいのマンション】
【年齢】 【連絡先】 を添えて、
下記お問合せまでお申し込みください。

お問合せ
申込先 本庁地域包括支援センター ☎ 047-363-6823
✉ matsumura@matsudo-npo.org (まつどNPO協議会: 松村) ☎ 047-710-7198

住民同士の交流があることで、いざという時の助け合いや普段の困り事を支え合う関係性が生まれます。それは『マンション』においても必要ではないでしょうか。
「挨拶しか交流がない」「同じマンションなのに誰が住んでいるのかわからないから不安」・・・などそんな問題意識をお持ちの方々が、まずはつながりを作る機会を企画しました。
マンションのコミュニティづくりについて考えてみませんか?

主催: 本庁地区地域づくり交流会実行委員会 松戸市役所 高齢者支援課

新型コロナウイルスの
影響により延期

目的

本庁地区のマンション間やマンション住民で課題を共有し意見交換を通じて、マンションにおける日常の中にコミュニティをプラスする意識を醸成していくことを目的に開催。また、住民協働によるコミュニティづくりを取り上げ、交流以外にもマンションの事例などを共有する。

開催日時

2020年3月7日(土) 13:30～15:00 → 延期

場所

KITE MITE MATSUDO 10階 アジアンフードガーデン

内容

事例紹介「住民協働によるコミュニティづくり」、グループワーク

当日参加者数

—

参加者の傾向

—

2層ワーキング

松戸市職員、本庁地域包括支援、まつどNPO協議会、千葉県マンション管理士会、マンション住民

総評

マンションにおける孤独死を課題意識としてもちつつ、まずはマンションのサロン運営者へのヒアリングやアンケート調査を展開。アンケートを経てようやく熱意のある住民とつながれ、そこを皮切りにマンション内外でのコミュニティづくりに意見交換(地域づくり交流会)を次年度以降も頻度多く開催したい意向だったが、新型コロナウイルスの影響で見通しがつかない状況。

地区名
タイトル

矢切地区

(仮) 矢切地区買い物支援活説明会

なし

新型コロナウイルスの
影響により延期

目的

3月16日（仮）で関係者向けに買い物支援開始を周知させる意図で開催予定だったが新型コロナウイルスの影響で開催延期。企画内容を再検討予定。

開催日時

2020年3月16日（月） → 延期

場所

総合福祉会館第1ボランティア室

内容

買い物支援活動に向けた説明ならびに意見交換、グループワーク

当日参加者数

—

参加者の傾向

—

2層ワーキング

松戸市職員、矢切地域包括支援センター長、まつどNPO協議会、地区会副会長、地区社協会長、民児協会長

総評

かねてより「買い物支援」をテーマに取り上げ、企画構想(対象地区の選定やアンケート実施準備)をしてきたが、地区社協、地区連合会、民児協など各々への説明に時間がかかった。少しずつ3機関の関係性構築を図りつつ、2層ワーキングを定着させ、買い物支援に向けた準備を進めていきたいところだったが、新型コロナウイルスの影響で方針の再検討が必要。

地区名
タイトル

東部地区

東部地区地域づくり交流会 ～憩いの場、サロン活動について考える～

案内書面にて
ご案内



目的

高齢者の方の憩いの場として地域住民が主体となって運営しているサロン活動について、運営上の工夫している点や困っている点等、運営者同士が様々な情報交換・共有を行う事で、サロンの発展・充実、活動が長く継続させていく意識の醸成を目的に開催。

開催日時

2020年2月21日（金） 13:30～15:00

場所

特別養護老人ホーム第二南花園 地域交流ホール

内容

「通いの場・サロン」運営ノウハウの伝達、グループワーク

当日参加者数

20名

参加者の傾向

高齢者支援連絡会相談員14名、その他自治会サロン・マンション内サロン・認知症カフェの運営者が参加

2層ワーキング

松戸市職員、東部地域包括支援センター、まつどNPO協議会、町会長、老人会会長、町会福祉部会

総評

当初は町会単位で見守り活動の拡充をテーマに、自治会、町会へヒアリングや意見交換を展開してきたが、町会の状況等を加味し、現在あるサロン活動の継続をテーマにした横のつながりを作ることとなった。今後はサロンへのヒアリングや交流会でできたつながりをもとに、サロン支援への展開を視野に入れつつ、地域住民との対話の機会を増やしていくことが必要である。

地区名
タイトル

常盤平地区

～災害弱者のための防災を考える～

常盤平地区 地域づくり交流会

**災害弱者のための
防災を考える**

【日時】 **11月30日(土) 13:30～16:00**
【場所】 常盤平市民センター ホール
【内容】

- ①アンケートから見える防災の取組み状況 ※町会名は伏せます
- ②防災に関する町会の好事例
- ③小金原の自主防災組織についてのお話 講師：所 正明さん
- ④グループトーク (各自の取組みについての意見交換など)

小金原地区会防災部 所正明さん

東日本大震災を経験し、避難所運営と要配慮者への支援を目的に、常盤平地区防災協議会を立ち上げた。特別支援学校や企業を巻き込み、松戸市との協働事業を兼ね、学校単位から地区へ対象を広げ、現在、小金原地区会防災部として、防災力はコミュニティづくりをモットーに要配慮者への見守りなどに関心が高い。

主催：常盤平地区地域づくり推進委員会
協力：常盤平地区社会福祉協議会、常盤平地域包括支援センター、まつどNPO協議会、松戸市

現在、松戸市の15の地区ごとに、地域に必要な仕組みづくりを検討する会議が始まりました。当地区では、その会議を「地域づくり推進委員会」と名付けて、話し合いを進めています。

(問合せ先)
NPO法人まつどNPO協議会
090-9826-3729 (LINE)



目的

要支援の人からの災害時への不安相談が増えている、という課題が提起されたことをきっかけに防災をテーマに話し合いを重ねる。災害時に必要なのは共助で町会活動で取り組む必要があるだろう、ということで、全町会に向けて防災活動に関するアンケートを実施。交流会は、その町会アンケートの共有と実践者の話を通して、防災をキーワードに地域づくりを進めていくことを目的とした。

開催日時

2020年11月30日(土) 13:30～16:00

場所

常盤平市民センターホール

内容

- ・町会アンケート報告・小金原防災部の先行事例で、共助、近助がすべきことを学ぶ
- ・グループで意見交換

当日参加者数

約40名参加

参加者の傾向

呼びかけた対象は町会と介護系の事業所で、町会長、防災リーダーなどが主な参加者となった。民生委員は、全市的な会議と重なり参加者が少なかったのが残念だった。

2層ワーキング

- ・松戸市職員・常盤平包括2名・まつどNPO協議会・地区社協事務局長・地区社協サロン部会代表、町会防災担当・特養職員2名・学習支援スタッフ・助け合いの会NPO
- ・年度当初には地区会長が同席

総評

初回到地区会及び地区社協の会長に参加していただいたことで、アンケートを初めとして町会長の皆様にご協力いただくことができた。ワーキングが多様であることで多角的な意見交換が可能となった。また交流会直前の地域ケア会議と連携ができ、公助の役割を知ったうえで共助の話ができたことは大きな成果だった。今後、防災をキーワードにして町会活動の活発化と町会の垣根を超える避難所運営などを通して地区内のネットワークを図っていきたい。

地区名
タイトル

常盤平団地地区

～ごあいさつに伺います～

主催：常盤平団地 地域づくり会議

あいさつは幸せづくりの第一歩
みんなで作る「向こう三軒両隣」
友は宝なり

ごあいさつ に伺います



自治会の腕章をつけた者が
まいます

電話番号や住所などを
お聞きすることはありません

【日時】1月14日(火)から15日(水)
午前中からお昼頃にかけて

協力：常盤平団地自治会、常盤平団地地区民児協
常盤平団地地区社会福祉協議会
常盤平団地地域包括支援センター
まつどNPO協議会、松戸市高齢者支援課

※記入必須項目/協力的でない場合は、あいさつとグッズを
2 地区 1 戸数 # 101 ※在宅・不在
※表札名 男女 年代
□表札なし、記入なし 不明
※同居者について(わかれば人数や関係、年代等)
□ 独居
□ 同居者がいる
(同居者：)
※チェック
□在宅だが会えず、あいさつを拒否された
□ 会えた
□ 障がい
□ 外国人(わかれば国名：
□ 匂いがひどい
□ ごみが散乱している
□ 話をしたが(つながり求めている)
□ 安心登録カードの提出フォロー必要
□ 今後も見守りが必要
□ その他、気づいたこと

ごあいさつに伺いましたが、
ご不在でした。

さらに参考に
資料を
に入れて
ください

※記入必須項目/協力的でない場合は、あいさつとグッズを
2 地区 1 戸数 # 101 ※在宅・不在
※表札名 男女 年代
□表札なし、記入なし 不明
※同居者について(わかれば人数や関係、年代等)
□ 独居
□ 同居者がいる
(同居者：)
※チェック
□在宅だが会えず、あいさつを拒否された
□ 会えた
□ 障がい
□ 外国人(わかれば国名：
□ 匂いがひどい
□ ごみが散乱している
□ 話をしたが(つながり求めている)
□ 安心登録カードの提出フォロー必要
□ 今後も見守りが必要
□ その他、気づいたこと

ToDo 2020

あいさつ回り利用資料
交流会は延期

目的

「団地の住民をHappyにする」ことを究極の目標とし、・住民の顔が見えなくなっている・地区社協、自治会、民生の持つ情報が共有化できない、ことを課題としたうえで、団地の以前からの活動である「あいさつ運動」をあらためてすることになった。数年かけて全員のところに挨拶しに行くことを目標として、実施者を集めた反省会を交流会として企画した。

開催日時

2020年2月19日(水) 14:00～16:00 → 延期

場所

常盤平市民センター

内容

2020年1月14、15日にあいさつ運動を実施し(実施者は28名、約1/4の1,200戸へのあいさつを行った)実施者でふりかえりをして今後の活動に活かす

当日参加者数

—

参加者の傾向

あいさつの実施者は新旧の民生委員、地区社協事務局員など

2層ワーキング

- ・松戸市職員・団地包括センター長・まつどNPO協議会・団地自治会2名
- ・地区社協会長・団地地区民生児童委員会会長

総評

住民に地区社協や自治会、民生委員、包括の情報を届けることができた。また今まで共有することが難しかった住民情報を、自治会、地区社協、民生児童委員と包括の4者で共有するしくみの土台づくりができた。

地区名
タイトル

五香松飛台地区

～地域づくり合同交流会～

五香松飛台

地域づくり合同交流会

【日時】3月1日(日) 13:30～16:00 (予定)
【場所】松飛台市民センター ホール
【内容】3地区の地域づくり交流会報告
これらの取り組みについての意見交換



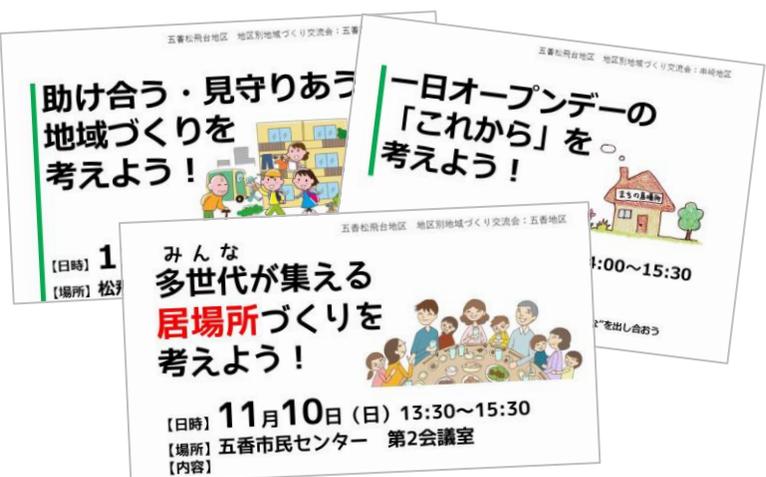
今年度、松戸市内で15の地区ごとに、地域に欲しい仕組みづくりを検討する会議が始まりました。この五香松飛台では、3つの地区に分けて話し合いを進めてきました。今回は3地区で実施した交流会のまとめの会になります。

11月10日(日) 五香地区
みんなが集える居場所づくりを考えよう！
子ども食堂運営者の話を聞いて居場所づくりについて話し合いました。

11月15日(日) 串崎地区
一日オープンデーの「これから」を考えよう！
みんなが気軽に集まれる「まちな居場所」の実現について意見交換しました。

11月24日(日) 松飛台地区
助け合う・見守りあう地域づくりを考えよう！
学校パトロールや見守り活動などの話を伺い、助け合う地域について話しました。

【問合せ先】主催：五香松飛台地域づくり交流会プロジェクト
五香松飛台高齢者いきいき安心センター 協力：松戸市高齢者支援課 五香松飛台高齢者いきいき安心センター
047-385-3957 まつどNPO協議会



助け合う・見守りあう地域づくりを考えよう！

一日オープンデーの「これから」を考えよう！

みんなが集える居場所づくりを考えよう！

【日時】11月10日(日) 13:30～15:30
【場所】松飛台市民センター 第2会議室
【内容】

3地域の交流会ちらし
合同交流会は感染症拡大防止のため延期

目的

当地区は広く地域性が違うこともあり、3つの地域に分けて進行した。各地域でできていることやできていないこと、欲しい仕組みなどを意見交換してテーマを設定した。10月に地域別に交流会を実施し、その3つの地域での活動を地区全体で共有し、お互いに意見交換する場を年度末に交流会として設定した。

開催日時

2020年3月1日(日) 13:30～16:00 → 延期

場所

松飛台市民センター

内容

五香地域「居場所づくり」松飛台地域「見守り活動」串崎・泉が丘「自治会館一日オープンデー」をテーマに交流会を実施。3/1の全体交流会で各地域の取り組みを報告しあい、地区全体で今度どのように取り組むかをグループワークする

当日参加者数

(五香) 11/10 五香市民センター 22名 多世代(みんな)が集える居場所づくり
(松飛台) 11/24 松飛台市民センター 20名 助け合う、見守りあう地域づくりを考えよう
(串崎) 11/15 泉が丘自治会館 約24名 一日オープンデーの「これから」を考えよう！

参加者の傾向

—

2層ワーキング

・松戸市職員・包括職員3名・特養地域連携担当者・市社協地区担当者・まつどNPO協議会/(五香)相談協力員兼サロン運営者2名・居場所運営者(松飛台)・自治会長・皆護ネットワーク・サロン運営者(串崎:泉が丘)自治会福祉部長・自治会副会長・福祉部員・相談協力員2名・デイサービス施設員・地域住民

総評

3地域で実施したことで、当地区のワーキングメンバーが20名ほどの参加となって大きな広がりを作ることが出来たのと同時に、テーマ設定も自分たちで決め、テーマに対するモチベーションの高さがうかがえた。今後は地域の動きを全体化してテーマごとにするのか、地域ごとに進めていくのかを検討して進める

地区名
タイトル

六実六高台地区 ～六実PRIDEを育てよう！～

六実六高台地区 地域づくり交流会2020



自慢できるまち
六実六高台地区

“六実PRIDE”を育てよう！

2/16 (日) 場所：六実市民センター ホール
13:30～15:30

- 六実中学校 前原校長先生が語る “PRIDE”を育むまち・六実
- 地域でのいろいろな活動紹介 色々な活動・人に出会える交流会
 - 六実地区子育て井戸端会議
 - 町会・自治会活動
 - 子ども食堂：ワイガヤ食堂、こどもらカフェ
 - 六実地区民生委員・児童委員協議会
 - はつらつクラブ高台地区
 - 六実六高台地区社会福祉協議会
 - 六実六高台高齢者いきいき安心センター
- グループで意見交換

小学生以上のお子さんは別館の六実こども館で遊べます
保育あり。ご相談ください！(090 9828 3728 担当 山崎)

当日参加できます 主催：六実六高台地区地域づくり委員会・松戸市高齢者支援課 無料
入場料は別館の六実こども館で遊べます 問合せ/申込：六実六高台高齢者いきいき安心センター 047-383-0100



目的

町会などの各地縁組織は活発に動いている地区であるが、それぞれの代表者がメンバーとなり地域資源を共有し、町会活動をヒアリングしてそれを交流会で報告することで、町会活動の底上げを図っていく、及び様々な地域活動の魅力を伝えることで担い手の掘り起こしにつなげることを目的とした。

開催日時

2020年2月16日(日) 13:30～15:30

場所

六実市民センターホール

内容

六実中学校校長による基調講演、地域活動団体アピール、グループトーク

当日参加者数

52名参加

参加者の傾向

町会自治会役員、六実井戸端子育て会議のメンバー、高支連相談員、民生委員など

2層ワーキング

- ・松戸市職員・地域包括職員2名・まつどNPO協議会・連合町会長・地区会会長
- ・地区社協事務局長・六実井戸端子育て会議代表・子ども食堂運営者1～2名
- ・民生児童委員地区会長・支所長

総評

全町会対象に町会活動のヒアリングを包括が主体で実施することができ、町会活動の把握につながった。交流会では、町会活動報告と当地区を代表するネットワークである子育て井戸端会議、を中心に多様なこの地域活動をお互いが知る機会となった。学校PTAなどの現役世代が、地域の活動を知り、実践者との交流の場となった。

地区名
タイトル

小金地区

「小金の顔の見えるつながり」をもっと広げるために

小金地区 地域づくり交流会

「小金の顔の見えるつながり」
をさらに広げるために

防災、子育てや教育、高齢者の見守り…など、様々なテーマにおいて地域の力や多世代交流がますます必要になってきています。

小金地区は既に子どもからお年寄りまで様々な地域活動が展開に行われていて、人のつながりや強い地域はありますが、活動をしている人たちがお互いのことをより深く知り、情報交換をしたり、連携できる糸口を見つけることで、今後さらに発展していくことを目指して本交流会を開催します。

地域の活動に取り組まれている方、活動を広げたいと思っっている方、ご参加されている方など、是非ご参加ください。

日時：2020年3月14日(土) 10:00~12:00
場所：第2いぶきの広場（松戸市東平賀 651） 定員：50名
対象：地域で人が集える通いの場やつながりを作る活動をされている方
主催：小金地域づくり交流会実行委員会・こがねと・松戸市高齢者支援課

<本交流会で目指していること>

- ① 小金地区で地域の活動をされている方同士の横のつながりを広げること
- ② 今後活動していく上での情報交換、連携していくための糸口を見つけること
- ③ 活動の悩みや今後の課題を共有し、解決に向けて議論する場をつくること

<当日の流れ>

- 参加者受付
- 交流会（活動紹介、情報交換）
- 交流会終了後、懇話会（自由参加）
- 交流会終了後、お茶会（自由参加）

<お問い合せ>
小金地域包括支援センター

<お申込み方法>
要領中申し込み書にご記入いただき、直接包括センターにお送りください。Faxにて送っても可。

Tel : 047-374-5221
Fax : 047-349-0560

新型コロナウイルスの影響により延期

目的

年度初めでは昨年度のフォーラムの延長線上として、地域食堂の立ち上げをテーマとしていたが、運営者のタイミングが合わず保留となった。その後包括と共に活動していたオレンジ協力員や有志の方々による動きも含めて、地域の通いの場やつながりを広げていくための情報交換を目的して交流会を企画した。

開催日時

2020年3月14日(土) 午後 → 延期

場所

第2いぶきの広場

内容

小金地区で通いの場や居場所づくりに取り組んでいる方々に参加していただき、お互いの活動について情報交換を行ったり、今後の連携についての検討を予定していた。

当日参加者数

—

参加者の傾向

—

2層ワーキング

- ・松戸市職員 ・小金包括センター長 ・まつどNPO協議会 ・地区社協会長 ・子ども食堂代表
- ・通いの場運営者 ・福祉施設責任者 ・デイサービス代表 ・子育て広場運営者 ・オレンジ協力員

総評

新型コロナウイルスの影響で交流会自体は実施できなかったが、事前の声かけの段階で多くの活動を知ることができた。今後は小金地区で地域の活動をしている人同士がネットワークを作り、今後世代・分野の違い関係なく、つながれる市民がより多く増えていくような取り組みをしていきたい。

地区名
タイトル

小金原地区

小金原で暮らす人を想う ～サインをキャッチできる街になるために～

小金原地区 地域づくり交流会

「小金原で暮らす人を想う」

～サインをキャッチできる街になるために～

小金原地区で暮らす、様々な困難を抱えながらも地域とのつながりが少ない人たち。接点が少ないが故に、いつの間にか課題が深刻化してしまうこともあります。今回は事例の紹介により声が上がって来た課題から、当事者の視点に立って生み出されたサインを共有し、日常の中で出されるサインを拾うために私たちが考えることを考えていきます。また課題に気づいた時につながり合うことのできる後の資源を地図で可視化するワーキングセッションを行います。

日時：2020年2月20日(木) 14時～16時半頃
場所：根木内タウンスクール2階 定員：30名
主催：小金原の地域課題を考える会・松戸市高齢者支援課
対象：日常的に住民と接点のある方、福祉関係者、居場所を運営している方など

<本交流会で目指していること>

- ①小金原地区で暮らしている人の「生み出す」について、その背景や理解を深める。
- ②日常の中で接する「気になる人」について共有し、私たちができることを考える。
- ③参加者間の繋がりがつくること、抱え込んでいると連携できる関係を築く。

<当日の流れ>

- オンライン（参加していただく方の、企画書共有後の説明）
- オンライン「生み出す」事例共有と質疑応答
- 事例共有後、各々が地域課題を地図に描き出す
- このセッションの振り返り

<お問い合せ先>
小金原地域包括支援センター
(開催：漢語)

Tel：047-383-3111
Fax：047-385-3071
メール：kaganehara-houkatu@yayaikai.or.jp



目的

年度当初から8050問題など地域との接点の薄い人、閉じこもりがちな世帯へのアプローチをテーマとしてワーキングを設置して会議を重ねてきた。その中で既に地域の資源である福祉関係者や行政担当者、民間の事業者の連携が必要ではないかということでお互いの情報交換と顔の見える関係づくりを目的として交流会を企画した。

開催日時

2020年2月20日(木) 14:00～16:30

場所

根木内タウンスクール2階

内容

地域との接点が薄い人へのアプローチ、サインをどうキャッチしてつなげることができるかをテーマとして、参加者それぞれの取り組みの紹介や意見交換を行った。

当日参加者数

30名

参加者の傾向

子どもに関わる部署や相談センターの市役所職員、社会福祉法人、病院、子ども食堂運営者、学習支援事業受託者、運送会社、児童養護施設、等の方々

2層ワーキング

- ・松戸市職員 ・小金原包括職員2名 ・まつどNPO協議会 ・地区長 ・こども食堂関係者
- ・ほっとねっと ・民生委員 ・子育て広場代表 ・スクールソーシャルワーカー

総評

同じ地域に関わりながらも、直接的な連携のきっかけがなかった方々が、現状の課題を共有し、つながることができたことは成果と言える。今後についても地域の資源をつなぎ、接点の薄い人が押し付けられるのではなく、自然とつながれることのできる地域づくりを進め、当事者の視点で求められることは何かを明らかにしていきたい。

地区名
タイトル

新松戸地区

新松戸DE声かけオリエンテーリング ～あなたの“一言”が街をやさしくする～



新型コロナウイルスの影響により延期

目的

認知症をはじめとして、障がいや子育てなど街の中での困りごとに対して、見守りや声掛け、地域の安全をテーマとして、日常で体験できるきっかけづくりを目的として企画した。

開催日時

2020年3月22日（日）午後 ⇒ 延期

場所

新松戸市民センターを中心とした近辺

内容

認知症・障がい・子育てなど、地域で困っている人に対して、住民同士でどのように声をかけていけるかを実際に体験しながら学んでいくイベント

当日参加者数

—

参加者の傾向

—

2層ワーキング

・松戸市職員・新松戸包括職員2名・まつどNPO協議会・地区社協・マンションコミュニティ運営者・通いの場運営者・助け合い活動をしているNPO運営者

総評

新型コロナウイルスの影響で延期となったが、チラシでの周知をしている段階で商店街や地元住民の方々からご協力いただけるという反応をいただいていた。イベントをきっかけに、様々なステークホルダーが協力して地域の安全や見守りをどのように広げていけるのかを検討していきたい。

地区名
タイトル

馬橋西地区

他人事ではない防災の話 ～いざという時、どう逃げますか？～

馬橋西地区 地域づくり交流会

他人事ではない防災の話
～“いざ”という時、どう逃げますか？～

江戸川に面していて、ハザードマップにおいてもリスクが高い場所が多い馬橋西地域。昨年も台風や大雨により、身の危険を感じた方もいたのではないのでしょうか？

本イベントでは特に水害に対してどのような備えが必要となるのかを理解することで自分や家族の安全を守る方法を学び、また高齢者や障がい者など支援を必要とする人たちに地域でどのようなサポートができるのかを考えていきます。いつ何が起きるか分からないことだからこそ、今からできることを一緒に考えませんか？



日時：2020年2月24日(月) 13:30～15:30
場所：馬橋市民センター・コミュニティルーム 定員：30名
主催：馬橋西地域づくり交流会実行委員会・松戸市高齢者支援課

<イベントの内容>
①馬橋西地域における災害リスク、防災・減災に役立つ講演や情報提供
②地域で孤立しがちな支援を必要とする人たちの状況を知り対応を考える
③非常食を使った試食や新聞紙を使った災害グッズのつくり方などを体験

<お申し込み方法>
お電話かFaxにてお申し込みください。その他、参加される方のお名前・ご連絡先・ご所属をお伝えください。

<お問い合わせ>
馬橋西地域包括支援センター（平日8時半～17時）
Tel：047-711-9430
Fax：047-711-9433



新型コロナウイルスの影響により延期

目的

台風や大雨をきっかけとして、防災に対する意識が高まっているため、これをきっかけに住民の方々を巻き込んでいけないかと考え、防災に関心を持つ人たちに参加してもらおう交流会を企画した。

開催日時

2020年2月24日(月) 午後 → 延期

場所

馬橋市民センター・コミュニティルーム

内容

馬橋消防署の職員による防災についての講義、小金原地区において取り組まれている、要配慮者を含めた防災の取り組み事例、生協の方による身近な防災について

当日参加者数 —

参加者の傾向 —

2層ワーキング

・松戸市職員 ・馬橋西包括職員2名 ・まつどNPO協議会 ・民生委員 ・地区社協

総評

地域の中で高齢者をはじめとした地域づくりに関心のある人、自分事として考える人を見つけていく、課題に対して取り組んでいける体制を作っていくことが求められる。

地区名
タイトル

馬橋地区

「おたがいさま」と言える街。まばし ~もしも、身近な人が認知症になったら~

馬橋地区 地域づくり交流会
「おたがいさま」と言える街。馬橋
 もしも、身近な人が認知症になったら...

2025年には65歳以上の「5人に1人」になると言われている認知症。決して他人事にはできない、誰しもうつ病、とても身近な病気です。

もちろん早期に予防をすることで、なるべく発症しないようにすることも大切なことですが、もし家族やご近所さんに不安な様子が見つかった時、あなたはどうしますか？

病状の発症を進める、予防できそうな場所を紹介する、自宅で見守ったり、困っていることをサポートしてあげる、認知症についての理解を深めることで、何かできることがあるかもしれません。

「困った時はおたがいさま」と言い合える街にするために、まずは一歩踏み出して地域の皆さんと一緒に考えてみませんか？

日時：2020年3月2日(月) 13:30~15:30
 場所：馬橋東市民センター 第1・2会議室 定員：30名
 主催：馬橋地域づくり交流会実行委員会・松戸市高齢者支援課
 対象：地域の見守りや支え合い活動に関心のある方

<本交流会で目指していること>
 ①実際の相談事例から見てきた高齢者の暮らしや困難事例について理解を広げる。
 ②特に認知症のケースについてこれから馬橋でどのように対応していくことができるかを考える。
 ③住民同士の顔が見える関係を広げることで、地域とつながるきっかけを増やす。

<当日の流れ>
 ●事前報告「馬橋地区における認知症の現状」
 ●15~16時「まばし」に合わせた地域資源の活用
 ●おたがいさまの活動紹介

<お問い合せ>
 馬橋地域包括支援センター

<お申し込み方法>
 お電話かFAXにてお申し込みください。
 その際、参加される方の名前・ご連絡先・ご連絡先を記入してください。

Tel : 047-374-5533
 Fax : 047-374-5501

新型コロナウイルスの影響により延期

目的

地域住人へのヒアリングなどを重ねていく中で、途中から包括における相談ケースの分析と積極的な地域資源のネットワークづくりをテーマとして進めていった。その中でも地域から関心の高い認知症について住民と共有する機会として交流会を企画した。

開催日時

2020年3月2日(月) 午後 → 延期

場所

馬橋東市民センター・第1、2会議室

内容

認知症に関わる、つながり切れていないケースについて町会ごとに分かれて話し合う。また暮らしている地域が近い人たち同士の顔が見える関係づくりを目的とした。

当日参加者数

—

参加者の傾向

—

2層ワーキング

・松戸市職員・馬橋包括職員3名・まつどNPO協議会・地区長・オレンジ協力員

総評

新型コロナウイルスの影響で交流会は延期となったが、周知の段階で町会長や民生委員の方々とコミュニケーションを図ることができ、申し込みも多数いただくことができていた。今後はオレンジ協力員の活動の活性化や、認知症の方への訪問、移動支援など、地域住人ができることを広げていくアプローチも進めていきたい。

2019年度 地域づくり交流会 実施報告書

発行：2020年3月30日

発行者：松戸市

作成：NPO法人まつどNPO協議会